

LINEで仕事を(第1回)

LINE“1人グループ”をつくるワザ

2019.05.08

スマホユーザーで、LINEを使っていない人はほとんどいないのではないかと。それほどスタンダードなコミュニケーションツールとなっている。正式な仕事のツールとして使うケースは少ないかもしれないが、同僚や部下へのちょっとした連絡や、忘年会の日程調整などに使っているビジネスパーソンは多いはずだ。特に仕事でLINEを効率良く便利に使える活用ワザを紹介していこう。今回は、「1人グループをつくってテスト投稿に活用するワザ」を紹介する。

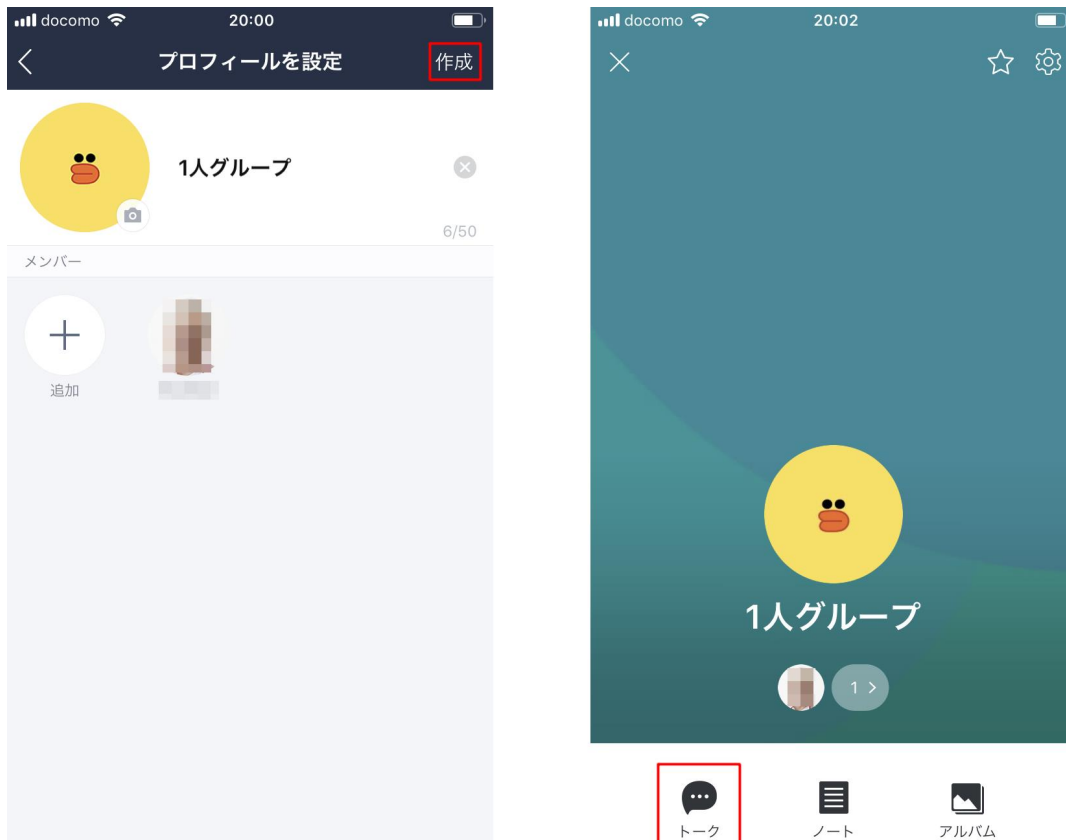
1人グループのつくり方

まずは、1人グループのつくり方だ。通常の「グループ作成」と同じ手順だ。

- 1)「友だち」画面で「グループ作成」をタップする
- 2) 友だちを誰も選択せず「次へ」をタップする
- 3) グループ名を入力し、アイコン画像を選んで「作成」をタップする



「友だち」画面で「グループ作成」を選び、誰も選択せずに「次へ」をタップ



グループ名を付けて「作成」をタップすると、1人だけのグループが完成

これで自分だけのグループを作成できる。あとはグループトークを表示し、いつもと同じように投稿すればよい。

活用事例その1: 下書き用(誤字脱字・見栄え確認)

LINEは気軽にトークできるのがいいところだ。しかし、目上の人や多人数のグループに送る場合、できれば誤字脱字などは避けたいし、読みやすくもしたい。筆者の場合、漢字変換する際、選んだつもりの候補の下をタップしてしまい、意味すら分からない“迷文”になってしまうことがある。

そんなときにはまず、下書きとして「1人グループ」に投稿してみよう。思わぬ間違いが見つかることもあるし、改行位置などの見栄えも確認できる。LINEを含め、メッセージアプリで誤字脱字やミスが多くなってしまう原因として、書いている途中は4行程度しか見られない点が挙げられる。パソコン画面なら全体を見渡せるが、スマホ画面だとどうしても制限がある。

いったん1人グループに投稿してチェックし、問題がなければ本番に投稿すればよい。投稿したトークを他の友だちやグループに投稿する方法は以下の通りだ。

- 1) 1人グループに投稿したトークを長押ししてメニューから「コピー」を選ぶ
- 2) 本番投稿したいトーク画面を開き、メッセージ入力エリアを長押しして「貼り付け」をタップ
- 3) 送信ボタンをタップ



テスト投稿をコピーして本番のメッセージ入力エリアに貼り付けて送信する

1人グループに投稿してミスを見つけた場合は、そのトークをコピーし、再度1人グループのメッセージ入力エリアに貼り付ける。そこで修正し、1人グループに再投稿して修正が反映されていることを確認する。筆者は、大人数のグループに投稿するときは、このように事前に1人グループでチェックしてから本番投稿するようになっている。

活用事例その2: アイデアメモ(ネタ帳)、買い物リスト、TODOリスト… 続きを読む